

BEETHOVEN

ベートーヴェン《マラー編》

交響曲第9番

「合唱付」

《MAHLER VERSION》

J. ウィリアムズ

映画「スター・ウォーズ」より

JOHN WILLIAMS

名古屋シュピールシンフォニカー 第17回演奏会

2026 **10.4** [日] 15:45 開演
[15:00 開場]

Niterra日本特殊陶業市民会館 フォレストホール

入場無料《事前申込制》

申込(入場チケット)は下の URL または右の QR コードから
【申込】 <https://teknet.jp/4127/66339>

※未就学児のご入場はご遠慮ください。
※ご来場には入場チケットが必要です。右の QR コードから入場チケットをご登録
いただき、会場入口にてチケット画面または申込完了メールを印刷したものを
ご提示のうえご入場ください。

入場申込
(teknet)



客演指揮

井崎 正浩

ソプラノ

飯田 みち代

テノール

大久保 亮

合唱

名響グループ

管弦楽

名古屋シュピールシンフォニカー

アルト

大田 亮子

バリトン

重左 竜二



客演指揮

井崎 正浩

Conductor : IZAKI Masahiro

現在ハンガリーを拠点にヨーロッパ、日本各地で活躍を続ける指揮者。'95年ブダペスト国際指揮者コンクールで優勝後、'07年よりハンガリー・ソルノク市の音楽総監督を務め、同市の音楽・文化団体を総括する重責を担い、その実力を評価されると共に高い人気を誇っている。こうした活動や国際交流での活躍を評価され、ハンガリー政府より大統領名での「金十字功労勲章」(民間人に与えられる最高栄誉)や「令和2年外務大臣表彰」を授与された。日本では1996年1月、東京シティ・フィルのニューイヤー・コンサートでのデビューを皮切りに、読売日響、日本フィル、東京フィル、東響、九響、名フィル、セントラル愛知響等の主要オーケストラに次々と連続客演して定評を得ており、その手腕を高く評価されている。現在は福岡市に建設された NCB ホールのアーティスティック・ディレクターも務め、一層の活躍が期待されている。



飯田 みち代 (ソプラノ)

日生劇場・びわ湖ホール等の記念オペラ『ルル』『メデア』『アイナダマル』『死の都』ほか『椿姫』『愛の妙薬』で主演、海外公演多数。『音楽の友』世界のディーヴァ100選、『音楽現代』に「陰陽自在な発声で多層な女性像を描く驚くべき才能」と絶賛。IDA オペラ塾・合唱団CORMI 主宰。京都大学卒、愛知県と春日井市で芸術選奨受賞、春日井市広報大使、二期会会員。



大田 亮子 (アルト)

名古屋音楽大学卒業。同大学院修了。共に首席修了。特待生奨学金を授与される。2004年よりミラノに留学し、Accademia Lirica Internazionale “Arnaldo Mantovani” にてディプロマ取得。「カヴァレリア・ルスティカーナ」サントウツァ役でデビュー。2014年に帰国し、後進の指導、合唱指導にも力を注いでいる。藤原歌劇団団員、名古屋音楽大学講師。



大久保 亮 (テノール)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽専攻卒業。同大学大学院首席修了。ワーグナー 楽劇「神々の黄昏」ジークフリート役をはじめ様々なオペラに出演の他、バッハ「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」エヴァンゲリストをつとめるなど、数々のコンサートに出演。合唱指導にも力を入れ、数多くの合唱団にて指揮、ヴォイストレーナーを務める。現在、愛知県立明和高等学校及び附属中学校非常勤講師。



重左 竜二 (バリトン)

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科卒業。バリトン歌手として様々なコンサートに出演。バッハのソロカンタータをはじめ、第九、天地創造、メサイア、モーツァルトやフォーレ、ブラームスのレクイエムのソリストを務める。近年は合唱指導者として東海地方を中心に多くの団体を指導、オーケストラを伴う大規模演奏会を開催している。名響グループ代表。コーラスユニット UtaKoKoRo 代表。

合唱 名響グループ

名響グループは、1990年に故伊藤真司氏により設立された名響コーラスを主体とした混声合唱団。現在は一宮、金山、刈谷、豊田、守山の各会場で練習している。これまでにモーツァルト、フォーレ、ヴェルディの3大レクイエムをはじめ、レクイエム(ブラームス、デュリュフレ、ベルリオーズ)、その他ベートーヴェン「交響曲第9番」、ヘンデル「メサイア」、ハイドン「天地創造」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ヤナーチェク「グラゴルミサ」、「テ・デウム」(ドヴォルザーク、ブルックナー)など、数々の名曲を演奏してきた。その累計公演数は70回以上。最近の演奏会では35周年記念演奏会としてラター「グロリア」、「レクイエム」の演奏会を開催した。



管弦楽 名古屋シュピールシンフォニカー

名古屋シュピールシンフォニカーは、主に東海地区の大学オーケストラの出身者によって2008年に発足したアマチュアオーケストラ。約100名の団員が在籍し、年1回の定期演奏会と年1回の室内楽演奏会を中心に演奏活動を行っている。楽団名である「Nagoya Spiel Sinfoniker」の「Spiel」とは、ドイツ語で「音楽を奏でる」「音楽を楽しむ」「遊ぶ」という意味で、お客様に満足していただけるように、まずは団員一人ひとりがクラシック音楽を楽しみ、そして一丸となって遊び心のある多彩な演奏をしよう、という想いが込められている。

